

有限会社 さとう技研

美郷町金沢字向小屋128-2  
Tel. 0182-37-3120  
Fax. 0182-37-3533



「(環境を含めて)ものを大事に、人を大事に」がモットーの佐藤六広会長(左)と佐藤純社長。

## 技術と品質、雇用を守る



有限会社 さとう技研

豊かな自然と水に恵まれた田園地帯で、レンズ加工を手がける「さとう技研」。人と環境に優しい経営を続ける。

### 高い技術を強みに15年

カメラや医療用機器、測定器などに使われる製作レンズや小ロット・高難易度のレンズの加工が得意な「さとう技研」。創業者で現会長の佐藤六広さんは、技術コンサルタントとして活躍していたほどの腕を持つレンズ加工のスペシャリスト。技能を伝授し、優秀な社員を育ててきた。同社は、高い品質・技術を強みに、無理な価格競争はしない。それでも卓越した技術を求め、県内外の大手から仕事が入る。

創業は2002年4月で、今年15周年を迎えた。創業時は自宅車庫を改装して工場にしていたが、5年の節目に新工場を建設しようと決意し、予定通り2007年に現在地に移転。今年は事務所兼工場の新設から10周年でもある。

### 環境に負荷をかけないよう配慮

県内のレンズメーカーに約30年勤務した後、仲間4人と共に54歳で創業した佐藤会長。当初は中古の機械ばかりを購入していたが、後に当センターの設備貸与制度を利用して、検査工程で用いる球面精度測定器を導入するなど徐々に拡充。現在、役員を含めて22人の組織に成長した。モットーは、もの(資源)と人を大切にすること。最小限の資源で、高品質の製品を生産することに誇りを持つ。例えば、環境への配慮。レンズ研磨には欠かせない水は、同業他社なら1日に3トン使うところを200リットルまで抑え、しかも再利用により排水ゼロを実現している。水の再利用は、不純物のろ過やpH調整など手間がかかるが、「周囲の田園に排水を流すわけにはいかない」ときっぱり。油を使う工程もあるが、廃油の回収・再利用も行っている。

### 社員を大切にした労働環境を整備

働きやすい環境づくりにも力を注ぐ。有給、産休、育休の取得推進はもちろん、子育て中の社員の急な休みも柔軟に受け入れる。「休みをきちんと取ることで生産性が上がる。人は仕事のために生きているのではないのだから」。古い考えは捨て、時代の変化や今の風潮は、若い人から積極的に学ぶべきだと語る。ベテランと20~30代の若手社員をバランスよく雇用するのはそのためでもある。「ベテランは若手から新しい価値観を学び、若手はベテランに技術や工夫を学ぶ。だから若手もベテランも絶対に必要。70歳まで安心して働ける環境を整えたい」。社員の働きやすさを追求する精神は、1月に代表取締役役に就任した息子の佐藤純さんにしっかりと受け継がれている。



**A** 環境に配慮した工場。水200リットルは、一般家庭の風呂の平均水使用量(1回あたり)と同程度。少ない水で研磨作業を行っている。

**B** 設備貸与制度で導入した球面精度測定器を用いた検査。

### 事業概要 設備貸与制度

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

お問い合わせ

あきた企業活性化センター 経営支援部  
設備・研究推進課

TEL 018-860-5702